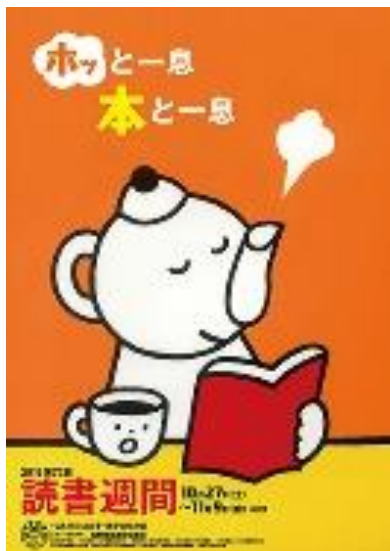


芸閣

～図書館だより～

第6号
2018年10月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書齋という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)



「ホッと一息 本と一息」

(今年の読書週間の標語)

スポーツの秋
行楽の秋
食欲の秋
読書の秋

10月27日～11月9日は読書週間です。
秋の夜長に本と一息しませんか。

9/12(水)・13(木)

文化祭

文化祭1日目、図書館では牛乳パックを使った本のしおり作りを開催しました。来てくださった方々はみんな、自分の思い思いのデザインを牛乳パックの上に広げて、オリジナルしおりを作りました。折り紙を好きな形に切ったり、折り紙の柄にそって切ったり、マジックペンで好きな絵を描いたり、十人十色のしおりができました。どれも個性あふれる作品で、本を読むのが楽しみになりそうです。いろんなしおりを見ることができ、楽しかったです。

☆作り方

- ①牛乳パックの外装をめくり台紙を作る。
 - ②内側のつるつるした面に絵を描いたり折り紙を貼ったりする。
 - ③ティッシュをかぶせてアイロンをかける。
- 完成！

1年 中嶋



文化祭の2日目は古雑誌を販売をしました！ 値段はなんと全て1冊10円！ 普段は少し高くても買にくい雑誌も、「10円なら…」と買って下さる方が大勢いました。なかには販売開始前から並んでまとめて購入してくれた方もいました。特に、平昌オリンピックで金メダルを獲得した羽生選手が表紙の雑誌は人気でした。長机2つにいっぱいにあった古雑誌も約2時間でほぼ売り切れました！ お買い上げいただいた方々、ありがとうございました！

1年 田中

※売上の1,610円は生徒会の募金活動に協力しました。

(裏面に新着図書の紹介を載せています)

新着図書の紹介

日本の小説

- 『ジャイロスコープ』 伊坂幸太郎 著 新潮社
『あるキング』 伊坂幸太郎 著 新潮社
『億男』 川村元気 著 マガジンハウス
『任侠浴場』 今野敏 著 中央公論新社
『真夜中の子供』 辻仁成 著 河出書房新社
『ファーストラヴ』 島本理生 著 文藝春秋

外国の小説

- 『キツネのボックス』
サラ・ペニーパッカー 著 評論社
『ヒトラーと暮らした少年』
ジョン・ボイン 著 あすなろ書房

歴史

- 『10代に語る平成史』 後藤謙次 著 岩波書店
『アンネ・フランクに会いに行く』 谷口長世 著 岩波書店
『江戸東京の明治維新』 横山百合子 著 岩波書店
『日本の税金』 三木義一 著 岩波書店

なるにはBOOKS 大学学部調べ

- 『工学部』 漆原次郎 著
『理学部・理工学部』 佐藤成美 著
『文学部』 戸田恭子 著
『社会学部・観光学部』 中村正人 著
『教育学部』 三井綾子 著
『法学部』 山下久猛 著

社会科学

- 『平和をつくるを仕事にする』 鬼丸昌也 著 筑摩書房
『「対人不安」って何だろう』 榎本博明 著 筑摩書房
『核兵器はなくせる』 川崎哲 著 岩波書店
『虚偽白を讀み解く』 浜田寿美男 著 岩波書店
『総介護社会』 小竹雅子 著 岩波書店
『トランプのアメリカに住む』 吉見俊哉 著 岩波書店
『日本の税金』 三木義一 著 岩波書店

自然科学

- 『「おしどり夫婦」でない鳥たち』 浜尾章二 著 岩波書店
『40億年、いのちの旅』 伊藤明夫 著 岩波書店
『世界一美しい人体の教科書』 坂井建雄 著 筑摩書房
『QOLって何だろう 医療とケアの生命倫理』 小林亜津子 著 筑摩書房
『雑草はなぜそこに生えているのか』 稲垣栄洋 著 筑摩書房
『生と死の現場から 聖路加国際病院救命救急医のメッセージ』 石松伸一 著 海竜社